

概要版 一まんなかに子どもたち

2024-2028

この計画は、家庭、地域、学校などの関係機関や民間団体などが連携・協力し北名古屋市の子どもの自主的な読書活動の推進に取り組むための方向性を示すものです。計画の対象年齢は、0歳から概ね18歳とします。

基本理念

子どもは、自主的な読書活動を通して、ことばを学び、感性を磨きながら、考える力や表現力、想像力を身に付け、多くの知識を得、多様な文化を理解することができます。さらに、読解力・論理的思考を体得し、さらなる探究心や心理を求める態度が培われます。

本市では、子どもたちと関わる多くの人々の手により、読書活動を通して子どもたちの豊かな心を育成していきます。

基本方針

本市では、読書活動を推進する基本方針として「みんなでつたえたい いっさつのほんがくれること」を掲げます。

そして「まんなかに子どもたち」を合い言葉として子どもたちの読書活動を支える環境を醸成していきます。

子ども読書活動推進計画 みんなで伝えたい「いっさつのほんがくれること」

いっさつのほん



いっさつのほんがくれること

いっさつのほん=ひとつの「けいけん」

いっさつのほん=ひとつの「かんどう」

いっさつのほん=ひとつの「ちしき」

いっさつのほん=ひとつの「せいちょう」

ふたつかもみつつかも、もっとかもしれない

いっさつのほんがくれること=ひとりひとりへのギフト

読解力+論理的思考+探究心=生きるチカラ

子どもたちにつたえたいこと。

一冊の本と出会う、一冊の本を読む、一冊の本を見る、一冊の本で調べる。

こうした読書活動が子どもたちに「経験」「感動」「知識」、そして一冊の本に触れる前の自分に

ひとつのチカラが備わり、前の自分から「成長」ということ。

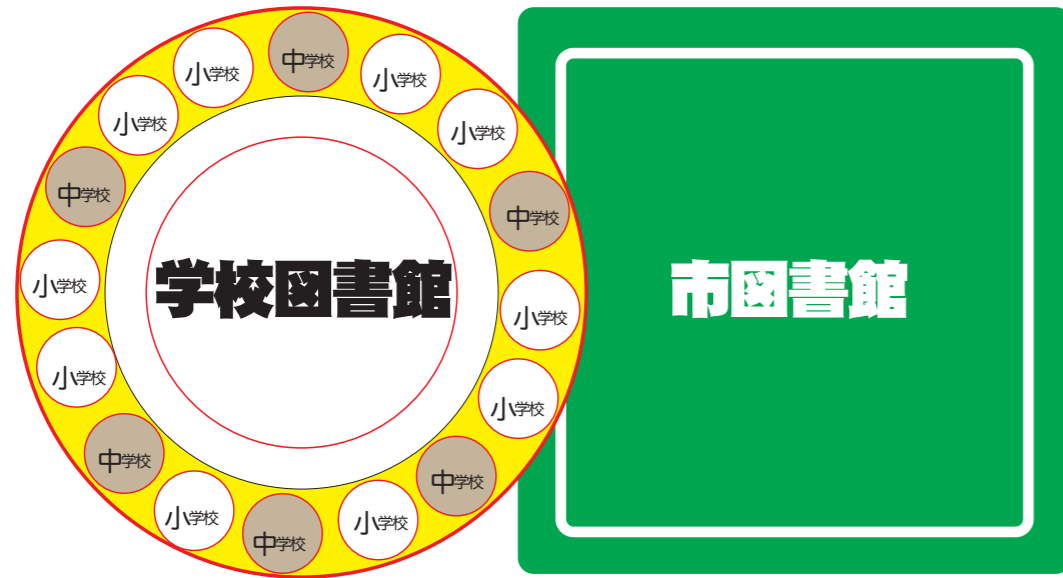
こうした活動を継続することにより、「読解力」「論理的思考」「探究心」が備わっていく。

それはすなわち「生きる力」となること。

新たな試み「図学連携」

図書館と学校図書館の連携を進めます。

市図書館と小学校(10校)・中学校(6校)の学校図書館をつなぎます。

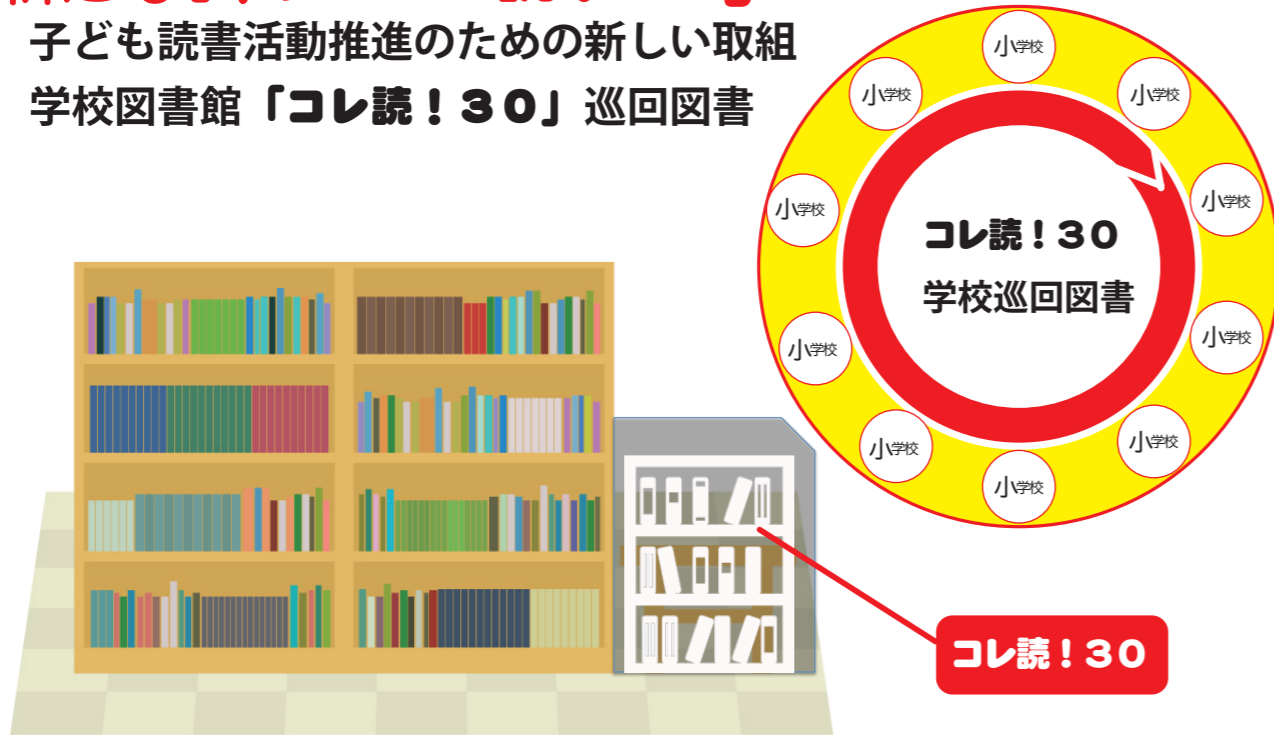


つなぐことできること

読書機会の増加・調べ学習の支援・団体貸出の円滑化・教職員の研修
図書ボランティアの研修・学校図書館の情報化の強化等

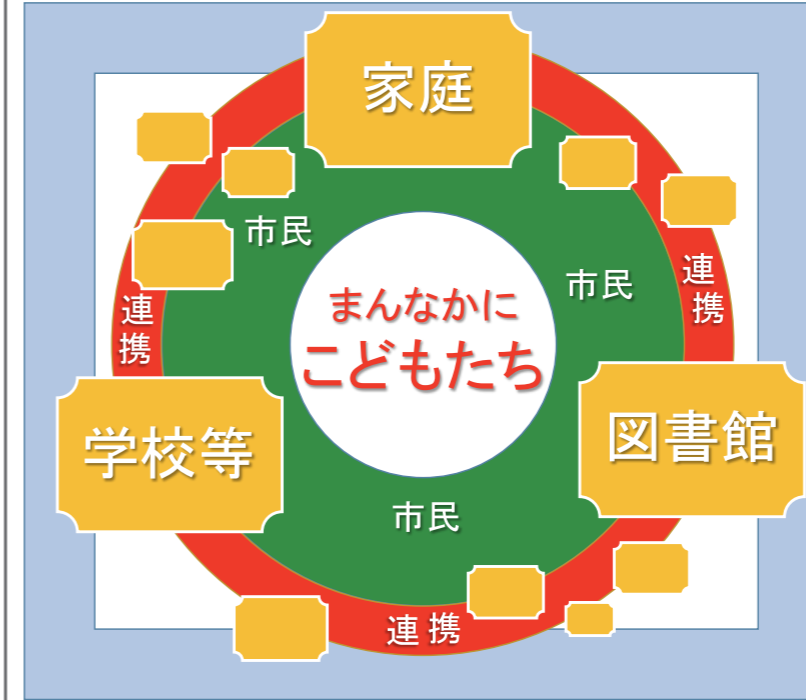
新たな試み「コレ読!30」

子ども読書活動推進のための新しい取組
学校図書館「コレ読!30」巡回図書



小学校10校を巡回する30冊の文庫。学校図書館に設置された白い本箱に毎月新しい本が「コレ読!30」として届く。

合い言葉「まんなかにかどもたち」



子どもたちの読書活動を支える概念図

北名古屋地域にある図書館・学校・家庭を軸に、あらゆる機関・団体・個人が子どもたちを真ん中に意識し、子どもたちの読書活動・学びを支えていく。

- 読書活動を支援する機関・団体・家庭
- 読書活動を支援する連携
- 読書活動を支援する市民一人ひとり
- 読書活動を支援するエリア

子どもたちの状況と目標

「子どもの読書活動に関するアンケート調査」結果と達成目標を掲げます。

取り組み内容	学年	計画策定時(2024)	目標数値(2029)	目標数値
① 読書が好きな子どもの割合	小学校2年生	84%	89	95
	小学校5年生	71%	76	85
	中学校2年生	65%	70	80
② 平日一日当たり30分以上読書をする子どもの割合	小学校2年生	45%	50	70
	小学校5年生	41%	46	60
③ 1か月に1冊も本を読まない子どもの割合(不読率)	小学校2年生	5%	4	4
	小学校5年生	12%	6	4
④ 市の図書館を利用している子どもの割合	中学校2年生	9%	8	4
	小学校2年生	62%	67	80
⑤ 学校の図書室を利用している子どもの割合	小学校5年生	47%	52	70
	小学校2年生	29%	34	40
	小学校5年生	76%	81	90
	中学校2年生	42%	47	60
	中学校2年生	11%	16	30